

宇都宮むねやす後援会ニュース



一頑
徹固

民主党
民主党大洲市議会議員
宇都宮むねやす

● 宇都宮むねやすホームページ
<http://muneyasunet>

2010年1月発行
第1号

議員年金の廃止にむけて

11月25日に開催された「市議会議員全員協議会」において、市議の年金を運営する「市議共済会」の代議委員会に向けて、議論が交わされた。

議員年金については、地方公務員共済組合法に強制加入の制度化となっており、他の公的年金と重複加入が認められている。

社会保障制度の一貫である公的年金制度とは、性格の異なるものである。平成の大合併で、町村が市に移行し、議員定数が減ったこと等により、市議年金では受給者が2倍以上に増加する事態になった。

しかし、大洲市で当てはめてみると、標準報酬月額額の100分の16(2,005万円)を負担している。ちなみに市会議員も100分の16(2,005万円)を全員で負担し

あっている。

2012年度に破綻が見込まれる「市議年金制度」が、存廃にたたきされているにもかかわらず、公費負担を上積しても存続させようとする動きが強まっている。(市議年金は全国で昨年89億円の赤字)

今年129億円の赤字が出る見通しで、積立金を取り崩してやりくりしている。

一方、廃止にするに『9,683億円が必要』と試算(国会議員互助年金の廃止に習い)されているが、1年でも早く廃止が求められ、廃止になれば年金受給に走り大幅に入替えることが予想される。ちなみに年金受給には、3期・12年の議員勤続が最低条件となっている。

山鳥坂ダム検証活動

中予分水を最大の目的に、昭和57年山鳥坂ダム建設構想が浮上して28年が経過する。

松山市を中心とした都市部と肱川流域都市との間で協議が棚上げされたり、住民の反対運動が展開される中、当時の自公政権ですら中止勧告になったにもかかわらず、分水目的から利水目的に振替えながらダム建設に執着した。

しかし、民主党鳩山政権の発足により「コンクリートより人へ」と政策転換され、税金の使われ方、特にムダな経費について検証した。

検証活動では、国交省、愛媛県、大洲市、肱川漁協・住民反対運動(11団体)、水没予定地域との懇談会の場を持ち、精力的にヒアリングを実施しました。

昭和36年鹿野川ダム完成時の肱川河川計画では、鹿野川ダムと流域の堤防建設で洪水が防止できるとする計画でした。

昭和21年からの洪水32回が実に防ぎ止めることが実感させられるものでした。

なぜなら、河辺川流域は肱川流域全体の集水面積が5%程度しかなく国交省「ダムの治水効果は流域面積だけでなく雨の降り方、治水容量などで効果は変わる」とし、昭和47年の洪

水を基準にした計画で山鳥坂ダムが必要とした。しかし、昭和47年の雨は肱川流域では洪水被害となっていないのであり、肱川に幾つのダムが必要なのか恐ろしい気がした。特に、堤防建設完成には30年近く要するとの言葉には愕然とした。

鹿野川ダム完成から50年ほどになり、菅田地区が無堤防であるためダムの放流量が少ないので3年に1度の洪水を現在でも繰り返している。また、野村・鹿野川ダム湖では、水質が悪化し、冬でも植物性プランクトンのアオコが毎年発生しており、国が約束した肱川の水质改善が無ければ漁業権を放棄しないとされた肱川漁協の言葉は非常に重みがある。

水没予定地域では28年間置き去りにされてきたとし、この9月に国交省との間で補償基準を受け入れた。(政権交代は8月30日)(水没予定地域の方々は)ダム建設を前提に生活設計しており、補償をしないのは到底納得いかないだろう。早急に補償を実行すべきだ。

それぞれ一人一人の生活に一律では解決できない話があり、どれも身につまされる話でした。民主党愛媛県連としては、昨年すでに生活再建のため政府に要望書を提出している。

※ ご意見・ご要望などがございましたら、お気軽にお声をかけてください。

連絡所 ▶ 〒795-0010 大洲市柚木1035番地8 【TEL・FAX】(0893)24-5038

12月定例会本会議

国民の民意により、劇的に「自民党」を中心とした政権から、「民主党」を中心とした勢力への「政権交代」が実現いたしました。「このことは、「自民党政治」が余りに「国民の意思・納税者の気持ち」をもて遊ぶかの如く行われてきたことに対して、民主党鳩山政権を誕生させたものと思われま。パイプ役になりえる為、「民主党公認」として立候補し、当選させていただき「民主党公認議員」として、12月定例会本会議において、一般質問をさせていただきます。

質問

1 愛媛県への要望書で、パナソニック四国エレクトロニクス(株)が、大洲工場の撤退を決定したことに對し、

①15年間に3回も浸水したことが大きな一因としているが、企業から浸水が原因で撤退との確認を取ったのか？また、「撤退の真の理由」を把握されているのか。それと同時に、②東大洲地域の堤防建設してこなかったことが問題ではないか。
東京で開催された「企業誘致フェア」で出されたパンフレットには大きな写真を掲載して、③撤退を表明している企業の工場風景を説明していることには大変な違和感を感じる。

答弁

① 確認をしたわけではないが、浸水が大きな理由だと思った。
② 東大洲地区の開発は、100年先を見ている計画であります。
③ このような広大なスペースがあると説明した。

質問

2 「使い勝手の悪い郵便局になった」、「民営化そのものより分社化に問題」がある、今回の総選挙で「見直すときが来た」郵政株の「株式売却」に対して、反対の法案成立を受けて、郵便と貯金保険の取り扱い業務の「三事業一対体制」の確立が急がれる、何故なら、採算性が低いエリアからNTT、農協な

どのような撤退する懸念があり、過疎地から唯一の金融サービスの手段を奪うことになる。そこで、内子町では住民票などの交付が郵便局で実施されており、大洲市でも行政サービスが出来ないか。

答弁

内子町では、指摘のとおり三局で行政サービスが実施されていますが、市内20箇所にある連絡所などで利用していただいている。当市では、郵便局がある場所には、連絡所などが隣接さ

質問

れているので、現時点では必要のないのではないか。

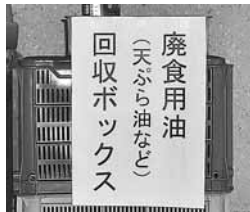
3 「柚木・北只土地区画整理事業」では、バラ色の事業説明であったが、平成16年・17年と連続で浸水被害が発生した。その後、外水氾濫工事は実施されたが、内水氾濫が懸念される。
①洪水発生時には各所で必要となる可能性が考えられるが、確実にポンプ車などが配備されるのか？
②肱川の臥龍淵と蓬萊山に流木

答弁

が溜まり、自然のダムになり陸地に入り込まないか心配。また、除去費用も莫大である。水の流れる方向を違う方向に誘導が出来ないか？
① 内水排除については、他地区での内水排除の状況を見ながら運営をする。ポンプ車も数に限りある。又、内水排除場所も特定する中で検討したい。
② 如法寺河原の堤防が完成する中で可能か検討したい。

廃食用油の回収

ご家庭で使われた食用油の処分でお困りではないでしょうか？



廃食用油も立派な資源と考え、大洲市でも回収しています。公民館などで勤務時間に回収しますのご協力をお願いします。

本日は、スーパーなど販売店で取り扱っていただくべきだと思いますが...

市役所におむつ交換ルームが設置されました

大洲市では平成21年11月25日より、市役所本庁舎1階(正面玄関より右手へ。高齢福祉課横の階段下)に「おむつ交換ルーム」を設置しております。

室内には「オムツ交換台」「オムツ用ゴミ箱」やイスを設置されています。

ご不便なところがありましたら、お近くの職員にお申し付け

ください。

乳幼児とご一緒に市役所に来られる方や、庁舎のお近くでお困りの方は、お気軽にご利用ください。

